

Ubuntu 12.04の特徴

2012年4月26日リリース

特徴

- 標準のデスクトップが Unity
- Desktop版のサポートも 5年間
- 収録ソフトウェアがバージョンアップ

Ubuntuの種類

- Desktop 32bit (Ubuntu 推奨)
- Desktop 64bit
- Server 32bit
- Server 64bit (Ubuntu 推奨)
- その他
Xubuntu/Edubuntu/Xubuntu/Kubuntu/Lubuntu/Ubuntu core...
ARM版Desktop/Server

Jma-receiptは64bit(amd64)版を採用します。

5年サポート

- Ubuntu 12.04からDesktop版も5年サポート

これまで Server版をインストールして必要最低限なデスクトップ環境に必要なソフトウェアをORCA Project側でサポートするという形でした。12.04からはDesktopの制限が少なくなります。

- ただし、すべてのソフトウェアが5年サポートではありません。

5年サポートが保証されているのは mainに属するパッケージのみ。

Universeその他は保証されていない。

ソフトウェアのバージョンによっても mainとUniverseは変わります。

Ruby1.8	main
Ruby1.9.1	universe
openjdk-6-jre	main
openjdk-7-jre	universe
PostgreSQL 8.4	universe
PostgreSQL 9.1	main

Desktop vs Server

- インストールCD的には両方使用出来ます。
- amd64版のkernelは共通になっており、デフォルトでインストールされるパッケージが違うだけ。
- インストールドキュメントでは64bit版Desktop CDを利用した方法になる予定。
- 10.04では、なるべくServer版に含まれないパッケージを使用しないような手順のインストールになっていたが、12.04では出来るだけ main に属するパッケージを選択する予定

収録ソフトウェア

バージョンアップ

Linux kernel	2.6.32	3.2.0	(最新版は3.4.2/3.5)
PostgreSQL	8.4	9.1	(最新。開発版は 9.2beta)
Gtk+2.0	2.20	2.24	(最新)
CUPS	1.4.3	1.5.3	(最新。開発版は 1.6.0beta)
iBus	1.2.0	1.4.1	(最新)(ORCA Projectでは修正版を提供)
Ghostscript	8.71	9.05	(最新)
X.Org	7.5	7.6	(最新版は7.7)

ほぼ変更なし

OpenCOBOL	1.0	(ORCA Projectでは修正版を提供)
Ruby1.8	1.8.7	
Anthy	9100h	
takao-font	003.02.01	

新規収録

Mozc	1.3.975.102	(最新版は1.5.1090.102)
Gtk+3.0	3.4.2	(最新版は3.4.3。開発版は3.5.1)
GNOME	3.2/3.4	(最新版は3.4)
Ruby1.9.1	1.9.3	(最新)
LibreOffice	3.5.2	(Openoffice.org 3.3も使用可)
Unity	5.12	

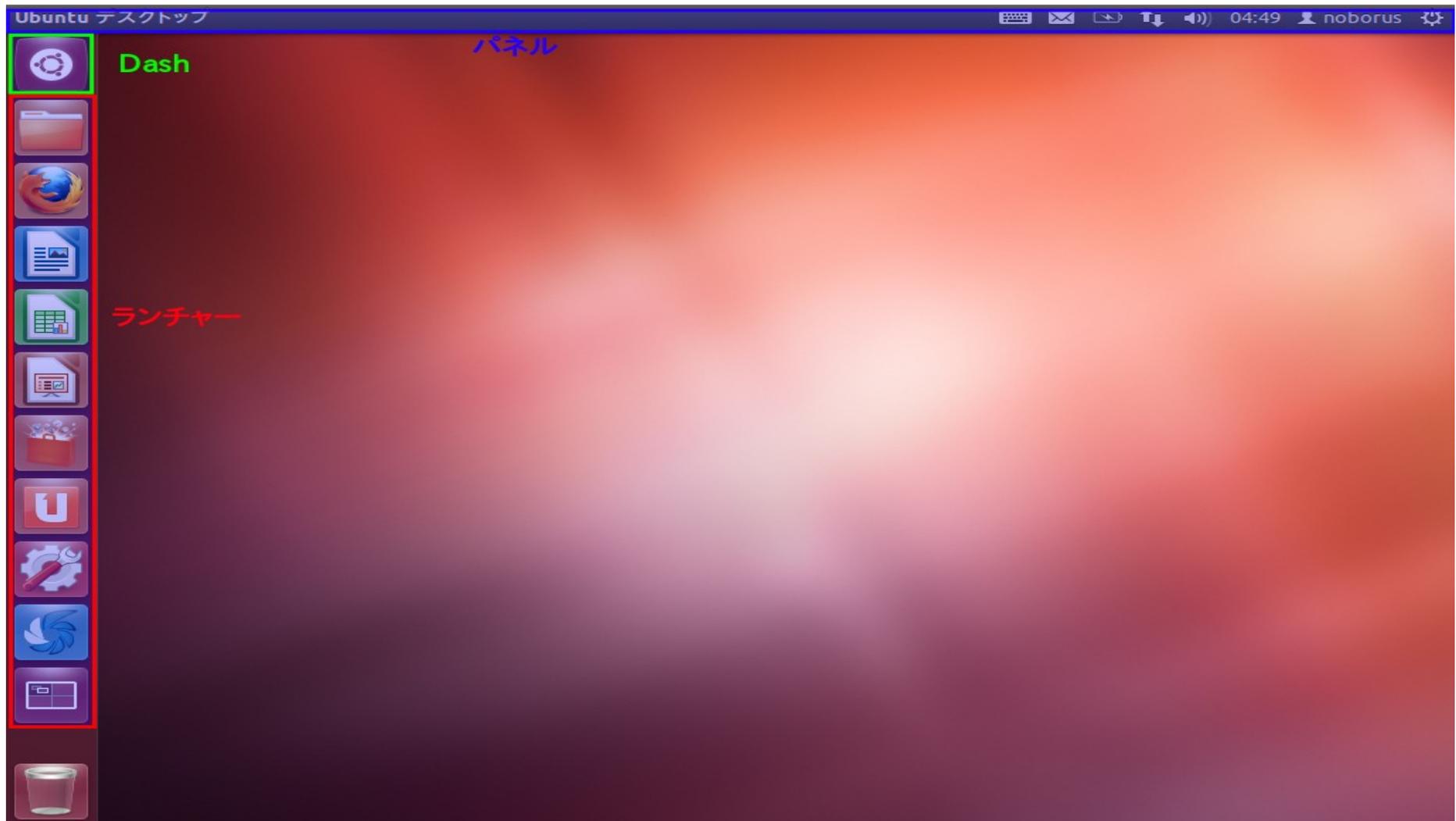
その他

Firefox/Thunderbirdは短期リリースに対応
(常に最新版にアップデートされる)

Javaは方針変更により OpenJDKを使用。
Open-jdk-jre6, Open-jdk-jre7

Unity

- GNOMEはWindowsに近いインターフェイスだったが、UnityはどちらかというMacに近いインターフェイス。
- 狭い画面でも有効に活用されるような設計になっている。
- タブレット等の使用も意識した作りになっている。
- 3Dサポートがないビデオカード(仮想化含む)ではUnity-2Dが使用される。



Unity②



- ランチャー以外のアプリケーションは左上のUbuntuのアイコン(Dash)から選択します。
- パネルはアプリケーションのメニュー表示と統合され、最大化した場合はタイトルバーとパネルも一体化します(グローバルメニュー)。
- スクロールバーがオーバーレイタイプになりました。マウスを近づけるとスクロールバーが表示されます。
- ランチャーは左側固定で自動で隠すことやサイズ変更は出来ませんが、アプリケーションはランチャーの上に表示することは出来ません(必ずランチャーとパネルは表示されます)
- Unityは標準にインストールしただけではカスタマイズがほとんど出来ない(MyUnity等の設定ツールを別途インストールする必要があります)。

Unityでのjma-receipt(panda-client2)①

- 1024x768 より大きい解像度の場合そのまま使用可能。
最大化してもしなくても使用出来ます。
- 最大化表示して使用した場合

診察日 平成24年 6月11日(月)

患者番号 氏名 生年月日 診療科 01 内科

ドクター 0001 内科 太郎 診療内容 01 診察1 カルテ 0:発行なし 処方箋 0:発行なし 組合せ

保険公費組合せ 未確認保険公費 U・P 0 U・P指示なし

番号	保険	公費1	公費2	公費3	公費4	名称	記号番号/受給者番号	最終確認日

現在の予約、受付状況

番号	予約時間	受付時間	患者番号	患者氏名	性	年齢	診療科	ドクター	診療内容	保険組合せ	前回来院日	送信
----	------	------	------	------	---	----	-----	------	------	-------	-------	----

選択番号

戻る クリア 前回患者 受付取消 予約/受付 前↑ 次↓ 選択一覧 会計照会 メモ登録 一覧更新 印刷 患者登録 診療行為 病名登録 収納登録 氏名検索 予約登録 受付一覧 受付完了

Unityでのjma-receipt(panda-client2)②

- 1024x768ではランチャーを隠す設定にする必要がある
さらに最大化表示が必須

(M01)業務メニュー - 医療法人 オルカクリニック

16:18 noborus

受付業務

11 受付 12 登録 13 照会 14 予約

会計業務

21 診療行為 22 病名 23 収納 24 会計照会

保険請求業務

41 データチェック 42 明細書 43 請求管理 44 総括表・公費請求書

統計業務

51 日次統計 52 月次統計

外部情報処理業務

71 データ出力

データバックアップ業

82 外部媒体

メンテナンス業務

91 マスタ登録 92 マスタ更新

新着情報

[日医メールマガジン\(日医白クマ通信\)](#) | [新着情報](#) | [2011年](#) | [2010年](#) | [2009年](#) | [2008年](#) | [2007年](#) | [2006年](#) | [2005年](#) | [2004年](#) | [2003年](#) | [2002年](#) | [2001年](#)

再度のお願い●インフルエンザマップへの協力をお願いします

- 2012-05-24 **マスタ更新◆点数マスタ、保険番号マスタ、感染症判定マスタ**
- 2012-05-23 **医薬品・医療機器回収情報(クラス1)◆No.1-0849**
- 2012-05-22 **マスタ更新◆保険者マスタ、相互作用マスタ、症状措置機序マスタ**
- 2012-05-16 **パッチ提供(第25回)◆日医標準レセプトソフト ver 4.6.0 全20件:診療行為/明細書/システム管理/CLAIM/帳票/その他**
- 2012-05-16 **パッチ提供(第57回)◆日医標準レセプトソフト ver 4.5.0 全20件:診療行為/明細書/システム管理/CLAIM/帳票/その他**
- 2012-05-14 **マスタ更新◆点数マスタ、システム管理マスタ、住所マスタ、統計メモマスタ**
- 2012-05-11 **医薬品・医療機器回収情報(クラス1)◆No.1-0848**
- 2012-05-11 **医薬品・医療機器回収情報(クラス1)◆No.1-0847**
- 2012-05-08 **マスタ更新◆電子点数表マスタ**
- 2012-05-02 **マスタ更新◆点数マスタ、チェックマスタ**
- 2012-05-01 **パッチ提供(第24回)◆日医標準レセプトソフト ver 4.6.0 全5件:診療行為/明細書/帳票**
- 2012-05-01 **パッチ提供(第56回)◆日医標準レセプトソフト ver 4.5.0 全4件:診療行為/明細書/帳票**
- 2012-04-27 **マスタ更新◆点数マスタ**
- 2012-04-27 **パッチ提供(第55回)◆日医標準レセプトソフト ver 4.5.0 全1件:明細書**
- 2012-04-26 **マスタ更新◆点数マスタ**
- 2012-04-25 **パッチ提供(第23回)◆日医標準レセプトソフト ver 4.6.0 全4件:診療行為/明細書**

選択番号

日医標準レセプトソフト (JMA standard receipt software)

戻る 再印刷 環境設定 印刷削除 予約登録 受付一覧

Unityでのjma-receipt(panda-client2)③

- 1024x768の場合はランチャーを隠す設定にしないとWindow位置がずれる。ランチャーを隠す設定にすると、すっぽり収まります(10.04のGNOMEのパネルのような問題がない)。
- Ubuntu 11.10頃はショートカットキー等相性が悪かったが、12.04では問題はなくなりました。

Unityが使うキーはSuper(Windows)キーとALTキーにほぼ集約されました。

- 動作速度は手元で試した限りだとGNOME Shell(GNOME3)の方が速いようです。また、Unity-2Dの方が速い場合があるようです。
- テーマの選択はデフォルトでは少ない(設定ツールのインストールが必要)

※どうしてもUnityが嫌な場合は他のUIをテストをしてみてください。

日本語入力

- 日本語入力としてはAnthyがデフォルトではあるが、Mozcがインストール可能になりました。

(ライセンスの解釈問題が決着したため)

- MozcはGoogle日本語入力のフリー版。リリースは頻繁におこなわれている。
- 辞書はipadicを元にしたもの。
- 文字パレット(文字コード表)、手書き入力との連携が可能。
- 日レセではMozc,Anthy両方サポートの予定。

Anthyは既に開発が終了しており、Mozcを推奨していくことになります。

- ATOK X3は12.04でも使用できるようですが、Unityでは使用が難しいかもしれません。

Ubuntu12.04対応スケジュール

- jma-receipt-4.7のリリースに合わせて提供予定
(2012年9月,10月,11月...?頃)
- Ubuntu 12.04.1が8月23日に予定されているので、実際のリリースは12.04.1が対象になると思います。
- 現在は毎日のようにパッケージの更新がある状態、12.04.1リリース後は落ち着くと予想...
- ~~現在 Jma-receipt-4.6+MONTSUQI(panda)4.7のテストパッケージを公開中
(jma-receipt-4.6のデータベースセットアップでつまづくので、データベースは他からリストアしてください)~~
セットアップ以外では大きな問題は見つかってませんが、セットアップが面倒なので、もう少し待ってください。panda-client2は利用可能です。
- もうすぐ出る 4.7pre版からはスムーズにインストール可能になるはず。

12.04アップデートスケジュール

- Ubuntu 12.04は14.04が出るまでの2年間にインストールCDが4回更新される予定。
 - 12.04.1 2012.8.23
 2012.10 12.10リリース
 - 12.04.2 2013.1.31
 2013.4 13.04リリース
 - 12.04.3 2013.8.15
 2013.10 13.10リリース
 - 12.04.4 2014.1.24

※ また、Ubuntuの(LTSではない)通常リリースした時のカーネルパッケージはlts-backport として提供されるので、新しいハードウェアに対応していない場合は、こちらを使用することで対応される可能性あり。

※ 上記は Ubuntu 10.04でも同じでした。

Ubuntu 12.04 でのjma-receipt

- Jma-receipt-4.7 からのリリースになります。
Ubuntu 10.04版のjma-receiptと基本的に動作は変わりません。
(4.6→4.7の変更点はほぼ共通です)
- データベースのエンコーディングはデフォルトUTF-8(予定)
- jma-receipt-fdd(panda-fdd)は提供されません。
- JISX0208:1997準拠フォントは提供されます。
(この提供が最後になります。Ubuntu 14.04では提供されません!)
- 4.7の機能ですが、日本語入力のON/OFFを自動で制御しない
チェックボックスがglclient2のランチャーに追加されます。

PostgreSQL 9.1

- 8.4(Ubuntu 10.04で採用)から 9.0を経て9.1がリリースされて現在の最新バージョンです。現在Ubuntu 10.04を使用している方は 9.0と9.1の変更点をチェックしてください。
- 8.4から9.0にバージョンがとんだのは、「ストリーミング・レプリケーション」という大きな機能が入ったためです。9.0でも比較的安定したバージョンでした。
- 9.1では、さらに改良された「同期レプリケーション」やレプリケーション関連ツールの改善されています。
- その他主な変更点
 - pg_basebackup pg_dumpコマンドと同じように手軽にバックアップやデータベースの複製に使用出来ます。
 - UNLOGGED TABLE WALログを出力しないテーブルを作成出来ます。更新が早くなりますが、クラッシュ時には消える場合があります。
 - SQL/MED 外部データ連携 外部のファイルや データベース(Oracle等)にSQLでアクセス出来るようになります。
 - パーティショニングの改善 テーブル分割がしやすくなり速度も向上しています。

pg_basebackup

- 物理バックアップコマンド。 pg_dumpは論理バックアップコマンド。pg_dumpを置き換えるものではありませんが、通常業務のバックアップとして使用出来ます。
- 基本的にはデータベースのファイルをコピー(又はtarアーカイブ)するものです。データベースの整合は保たれるように取得しリモートからも実行できます。
- レプリケーションで複製が簡単に出来る目的で開発されたものです。
- 全体バックアップのみです。
- 特徴はリストアが速いです。tarアーカイブにしている場合はファイルを展開するだけなので、ほぼディスクにファイルを書き込む速度に近い速度でリストア出来ます。
- 以下のように使用すると /tmp/data/base.tarというファイルが作成されます。

```
$ sudo -u postgres pg_basebackup -h localhost -p 5432 -U backupuser -Ft -D /tmp/data  
--xlog --checkpoint=fast --progress
```

Password:

WARNING: skipping special file "./server.crt"

(略)

581393/581393 kB (100%), 1/1 tablespace